

アルファグループ株式会社
平成28年3月期 決算説明会

2016年6月8日（水）

サマリー

平成28年3月期総括

◆ 持続的な成長に向けた事業基盤の構築へ注力

- ・ モバイル事業：総務省の指導等からの市場の冷え込みにより、増収となるもわずかながら減益
- ・ オフィスサプライ事業：継続収益を維持し、増収増益
- ・ 水宅配事業：既存顧客の減衰が進み黒字であるものの減収減益
- ・ 再生可能エネルギー事業：売電収入に加え、転売対象物件の売却が進み増益

平成29年3月期事業方針

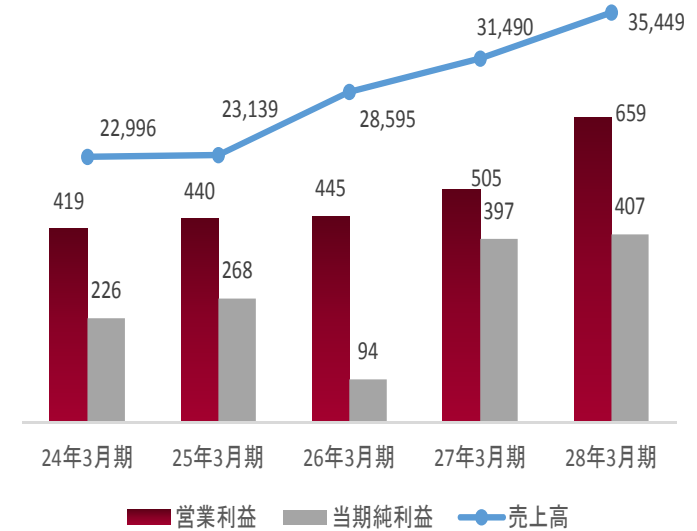
◆ 逆風にも対応できるビジネスを目指し、さらなる一歩を踏み出す

- ・ 既存の収益基盤に甘んじることなく、新事業を展開
- ・ 既存事業においても一歩踏み込んだ進化を目指す

平成28年3月期 決算実績

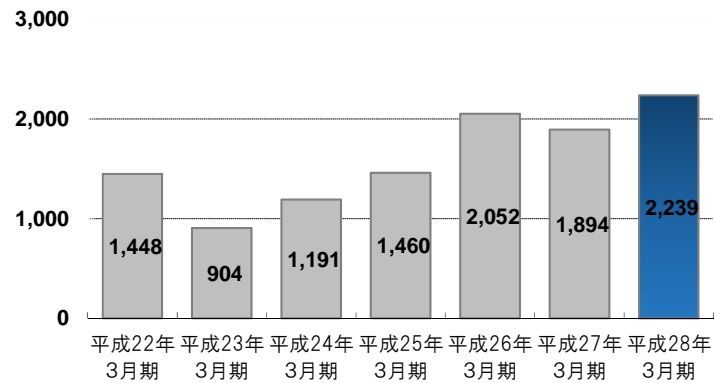
◆ 「売上高」「営業利益」「経常利益」「当期純利益」のすべてが増加

	平成27年3月期 実績	平成28年3月期 予算	平成28年3月期 実績	対前年実績増減額/率		対予算増減額/率	
				増減額	率	増減額	率
売上高	31,490	32,959	35,449	3,959	12.6%	2,490	7.6%
営業利益 (利益率%)	505 (1.6%)	588 (1.8%)	659 (1.9%)	154	30.5%	71	12.1%
経常利益 (利益率%)	444 (1.4%)	563 (1.7%)	625 (1.8%)	181	40.8%	62	11.0%
当期純利益 (利益率%)	397 (1.3%)	343 (1.0%)	407 (1.1%)	10	2.5%	64	18.7%

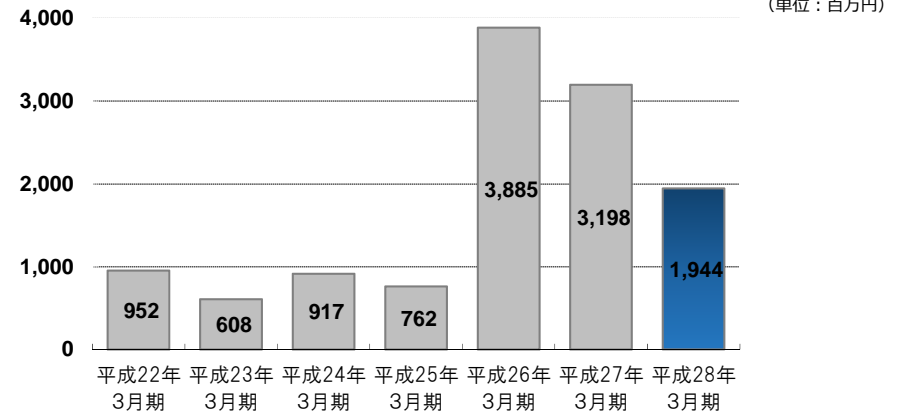


財務状況

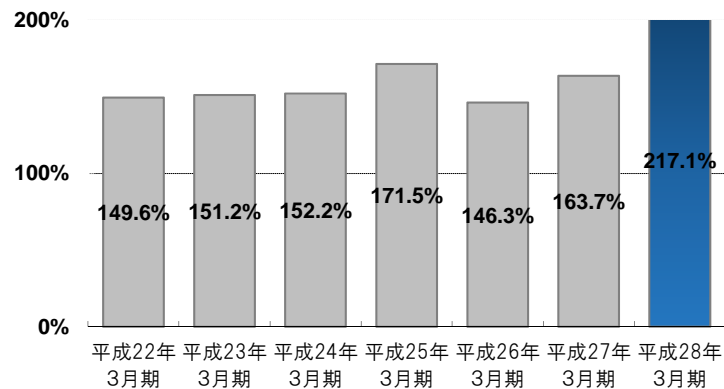
現金および預金



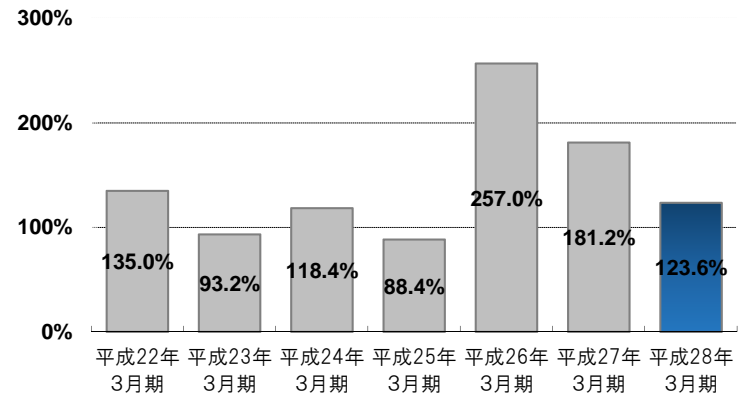
借入金



流動比率



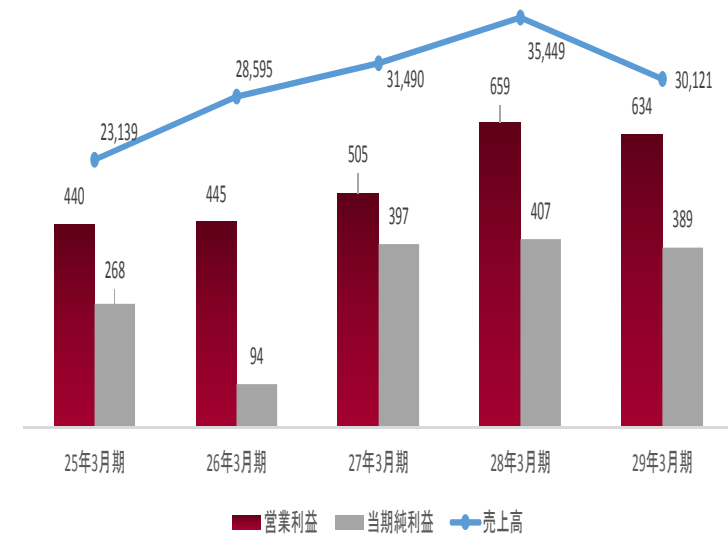
負債比率



平成29年3月期 連結業績予想

◆ 逆風にも対応できるビジネスを目指し、さらなる一步を踏み出す

	平成28年3月期 実績	平成29年3月期 計画		対前年実績増減額/率		
		上期計画	下期計画			
売上高	35,449	30,121	14,683	15,438	▲ 5,328	▲15.0%
営業利益 (利益率%)	659 (1.9%)	634 (2.1%)	345 (2.3%)	289 (1.9%)	▲ 25	▲3.8%
経常利益 (利益率%)	625 (1.8%)	600 (2.0%)	326 (2.2%)	274 (1.8%)	▲ 25	▲4.0%
当期純利益 (利益率%)	407 (1.1%)	389 (1.3%)	211 (1.4%)	178 (1.2%)	▲ 18	▲4.4%



セグメント別 取り組み

モバイル事業の総括と方針

単位：百万円	平成28年3月期 実績				平成29年3月期 計画		
		前年実績	増減額	比率		増減額	比率
売上高	26,608	22,762	3,846	16.9%	22,188	▲ 4,420	▲ 16.6%
営業利益 (利益率)	226 (0.8%)	228 (1.0%)	▲ 2	▲ 0.9%	140 (0.6%)	▲ 86	▲ 38.1%

平成28年3月期総括

◆前年と比べ、「売上高」は増加、「営業利益」は減少

- ・上半期においては、MNPでの買換え需要が好調であったこと等により好調に推移
- ・第4四半期において、総務省の指導により価格へ訴求した販売ができなくなり、業績が伸び悩む

平成29年3月期事業方針

◆市場の変動に対応すべく販売網強化及び新たな商材・販路の開拓を進める

- ・教育及び接客サポートツールの提供等の支援による販売網強化
- ・MVNO等の新たな商材や販路の開拓に積極的に取り組む

モバイル事業 28年3月期取り組み（店舗出店状況）

◆ 店舗出店・撤退状況

前期出店 10店舗

キャリアショップ 1店舗
併売店 9店舗

前期撤退 24店舗

併売店 24店舗

純減 14店舗

27.3末
136店舗

28.3末
122店舗



28年2月au立川通り
OPEN



27年9月ソフトバンク国領
OPEN



28年2月SmaPla川越モディ
OPEN

モバイル事業 28年3月期取り組み（全国携帯電話販売代理店協会への加盟）

◆ 一般社団法人 全国携帯電話販売代理店協会への加盟

すべてのお客様が安心して安全に携帯電話サービスをご利用いただける環境を構築し、公正かつ適正な販売を実現するとともに、お客様視点を重視した丁寧でわかりやすい説明及びアフターサービスの充実を通じて、携帯電話業界のさらなる発展を実現することを目的とし設立。

【当社理念】

人と社会が「よりよく」続いていくために、
必要とされる商品・サービスを提供しつづけられる
存在を目指す。



National Association of
Mobile-phone Distributors



モバイル事業 29年3月期取り組み

◆ モバイル事業における新たな取り組み

<MVNOの取り扱い>

MNOに続く新たな商材として、
MVNOの取り扱いを開始



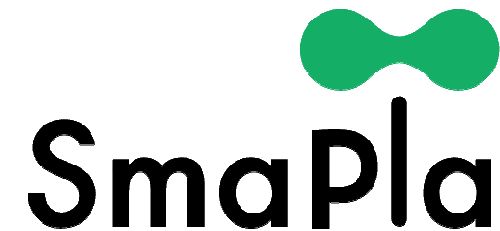
<法人向け営業>

新たな販路として、法人顧客向けに携帯電話等の
コスト削減プランの営業を実施
また、これらと親和性のある商材も合わせて展開



<SmaPlaの運営>

より快適なスマートフォンライフの提供を
目的として
カバーケース等のアクセサリを
専門で扱うショップの運営を開始



オフィスサプライ事業の総括と方針

単位：百万円	平成28年3月期 実績			
	前年実績	増減額	比率	
売上高	6,749	6,479	270	4.2%
営業利益 (利益率)	231 (3.4%)	112 (1.7%)	119	106.3%

平成29年3月期 計画		
	増減額	比率
売上高	205	3.0%
営業利益 (利益率)	2 (3.4%)	0.9%

平成28年3月期総括

◆前年同期と比べ「売上高」、「営業利益」共に増加

- ・顧客獲得の配分比率の変更や、コストの適正化を継続したことにより
営業利益が大きく増加

平成29年3月期事業方針

◆見込み顧客の獲得（量）から「購入顧客の創造」（質）へ

- ・「継続して買っていただけるお客様」をつくるため、既存のノウハウの向上に努めると共に、
新たな獲得手法の確立に注力する。

カウネット事業について



＜総合販売カタログ＞

O A 機器から生活用品まで幅広いラインナップ

最近は生活用品の販売も好調



＜オフィス家具カタログ＞

オフィス家具に特化した専門カタログ

単価が高いため収益性が高い



＜「カウコレ」プレミアムお困りごと解決BOOK＞

「カウコレ」プレミアムマガジンを大幅に進化

カウネットならではの独自の価値を提供

＜商品一例＞



オフィスサプライ事業29年 3月期取り組み

新設法人向けのスタートアップブック

起業したら

平成28年6月創刊

「融資の受け方は？」

「税理士、弁護士などの士業の先生の探し方は？」

など、 起業時に有用な情報を多数掲載

起業家のためのスタートアップブック

2016年版

起業したら

起業後は何をすればいいの？

起業したらやるべき5項目

TOPメッセージ
アルファグループ代表取締役社長
吉岡伸一郎

おもしろデータあれこれ
起業に関するデータ集

どんな人が成功するの？
成功するタイプランキング

○○○○○○○○○○○○○○○○
巻末○○○○○○○○



水宅配事業の総括と方針

単位：百万円	平成28年3月期 実績				平成29年3月期 計画		
		前年実績	増減額	比率		増減額	比率
売上高	181	249	▲ 68	▲27.3%	204	23	12.7%
営業利益 (利益率)	54 (29.8%)	84 (33.7%)	▲ 30	▲35.7%	82 (40.2%)	28	51.9%

平成28年3月期総括

◆「売上高」、「営業利益」共に減少

- ・顧客獲得を取り止めているため、顧客数が減衰

平成29年3月期事業方針

◆投資したリターンとして「STOCK」（継続収入）を回収する

- ・既存のお客様にウォーターバックをご購入頂くことで、継続的に収益を得られるビジネスモデルを維持する
- ・当期において新たに事業譲受を行ったことで、売上高、営業利益共に増加の見込み

再生可能エネルギー事業の総括と方針

単位：百万円	平成28年3月期 実績			
		前年実績	増減額	比率
売上高	1,932	1,931	1	0.1%
営業利益	146	73	73	100.0%
(利益率)	(7.6%)	(3.8%)		

平成29年3月期 計画		
	増減額	比率
売上高	▲ 1,158	▲ 59.9%
営業利益	32	21.9%
(利益率)	(23.0%)	

平成28年3月期総括

◆ 前年同期と比べ、「売上」はほぼ横ばい、「営業利益」が増加

- ・複数の売却対象案件の売却が進んだことにより、営業利益が増加

平成29年3月期事業方針

◆ 現在保有案件の確実な完成、将来の安定収益確保を目指す

- ・市場の不安定性を鑑み、積極的な投資の継続は控える
- ・よりよい条件での売却実行を進める

企業理念

『人に、よりよく』

本資料に記載されている当社の計画、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料作成時において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内での判断に基づくものです。

しかしながら、現実には通常予測し得ないような特別事情の発生または結果の発生等により、本資料記載の計画とは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆さまにとって重要と考えられるような情報の積極的な開示に努めて参りますが、本資料の計画のみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられますようお願いいたします。

問い合わせ先： 経営企画 I R 担当 03-5469-7302